

# 2022 年度業務実績報告書

提出日 2023 年 2 月 11 日

1. 職名・氏名 准教授 境 宏恵

2. 学位 学位 博士、専門分野 経済学、授与機関 京都大学、授与年月 2002.1

## 3. 教育活動

<p>(1)講義・演習・実験・実習</p> <p>① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等 経営財務論 (4 単位 毎年開講) 2・3・4 年生 (2022 年度)</p> <p>② 内容・ねらい 事業を行う上で必要な資金の管理、投資プロジェクトや企業価値の評価方法、企業が長期資本を調達するための方法や配当政策、経営戦略と財務とのかかわりなどについて講義する。財務的意思決定が行われる仕組みに関する理論について基礎的な理解を深めるとともに、実際の企業の行動や財務政策の背景や影響について考えさせる。</p> <p>③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 要点理解や全体像把握のために役立つようにレジュメを改善した。また、設例として具体的な数値をもとに考えさせたり、実際の企業での事例などを挿入したりすることで、少しでも理解を深められるように努力した。課題として Excel を利用して実際に計算をする機会を設けたり、提出物にコメントをつけて返却したりするなど、工夫した。さらに、課題で実際の企業のデータを利用して作業をする課題を増やし、現実経済と理論との関係を意識させるように努力した。 また、新型コロナウイルス感染拡大防止のために休止していた福井県信用保証協会と連携による外部講師講演会を 11/21 に実施した。</p>
<p>① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等 経営分析論 (2 単位 毎年開講) 3・4 年生 (2022 年度)</p> <p>② 内容・ねらい 企業が作成・公表する財務諸表を利用してさまざまな分析指標を算出できるようになること、また、その意味や評価基準についての理解を深めることを目標とする。データや資料の入手のしかたなども含め、実際に分析を行う際に役立つスキルを得ることを目指す。</p> <p>③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫 要点理解や全体像把握のために役立つようにレジュメを改善した。また、設例として具体的な数値をもとに考えさせたり、実際の企業での事例などを挿入したりすることで、少しでも理解を深められるように努力した。 レポートで実際の企業データをもとに各種比率の算定や全体的な評価を行うという課題を課した。講義中に質問を受け付けてその場でアドバイスしたり、メールでの質問も推奨したりするなど、できるだけ個別の質問を解決できるような環境作りに努めた。グループワークを行う時間を作るなど、学生間のコミュニケーションの時間を作るとともに、相互に発表し合う機会を設けた。</p>
<p>① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等 外書講読 I (2 単位 毎年開講) 2・3・4 年生 (2022 年度)</p> <p>② 内容・ねらい 易しい英文で幅広いテーマを扱うことで、2 年生が今後自らの専門分野を決定する上で役立つようにということ意識した。また、扱う英文が時事問題をテーマとしていたこともあり、英文の理解ももちろんであるが、背景にある考え方や事実の流れ等を補足解説して内容理解を深めることも意識して授業を行った。</p> <p>③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫</p>

英文理解のチェックは、事前提出という形をとることで受講生の中でミスが多かったところを事前に把握し、解説に生かすように努力した。また、経済・経営的な内容や背景をより深く理解できるように、資料等を用いて補足説明を十分に行い、英文の理解だけにとどまらないように工夫をした。とくに、新聞記事等を活用し、経済に関する時事ニュースを理解するための予備知識を深めることに努力した。

できるだけペアワーク・グループワーク・発表の機会を設け、受講生相互の関わり合いを増やすように意識した。

① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等  
演習 I (4 単位 毎年開講) 3 年生 (2022 年度)

② 内容・ねらい

企業が作成・公表する財務諸表を利用してさまざまな分析指標を算出できるようになること、また、その意味や評価基準についての理解を深めることを目標とする。データや資料の入手のしかたなども含め、実際に分析を行う際に役立つスキルを得ることを目指す。さらに、実際にレポートを作成する作業を通じて、企業に対する理解と関心を高める。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫

前期はまず輪読を通して財務諸表自体に対する理解を深めることを目指した。また、後期は実際の企業や業界の財務諸表や各種資料をもとに経営分析を行ってレポート執筆を進めている。今年度の3年生は、眼鏡小売業界の経営分析というテーマでゼミレポートを作成している。これらを通じて、実際の企業への関心や、実際の企業が作成する財務諸表とそれが果たす役割についての関心が高まった。

① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等  
演習 II (4 単位 毎年開講) 4 年生 (2022 年度)

② 内容・ねらい

企業が作成・公表する財務諸表を利用してさまざまな分析指標を算出できるようになること、また、その意味や評価基準についての理解を深めることを目標とする。データや資料の入手のしかたなども含め、実際に分析を行う際に役立つスキルを得ることを目指す。さらに、実際にレポートを作成する作業を通じて、企業に対する理解と関心を高める。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫

演習 II は年間を通してゼミ論の指導が中心となった。今年度は卒論の提出希望者がなく、全員がゼミ内での発表にとどまることとなった。来年度以降学生が卒論を書きたいと思えるように早期の意識付けを図りたい。

① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等  
基礎演習 (4 単位 毎年開講) 2・3・4 年生 (2022 年度)

② 内容・ねらい

企業や業界について調べる際にはどこでどんな資料やデータを手に入れることができるのかを、実際に体験しながら学ぶ。「他の授業の課題やレポートを書く際に役立つような情報や資料の検索の仕方」、「初歩的なアカデミックライティングの力」、「将来の就職活動の際に、企業研究・業界研究をする上で役立つような視点」を身につけることを目標とする。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫

できる限りペアワークやグループワークの機会を設けて人間関係を構築できるように配慮した。座学だけではなく、自分で動き回ってもらえるように課題の出し方を工夫した。また、提出物にはできるだけコメントをつけて返し、双方向性をもった学習機会を増やすように工夫した。

① 担当科目名 (単位数) 主たる配当年次等  
経営財務戦略論 (2 単位 隔年開講) 大学院 1・2 年生 (2022 年度)

② 内容・ねらい

企業の存続や成長にとって企業価値創造は重要な課題であり、企業において財務的な意思決定を行う財務管理者の役割はますます高まっている。本講義では、財務的意思決定が行われる仕組みに関する理論について基礎的な理解を深めるとともに、実際の企業の行動や財務政策の背景や影響について考える。

③ 講義・演習・実験・実習運営上の工夫

受講生が少数で、かつ職業柄専門的な知識を持っていたので、仕事との関わりや実務を考える上での理論的背景ということ意識して授業を行った。質問や議論が積極的に行われた点は好ましい状況であった。

(2)非常勤講師担当科目

① 担当科目名(単位数) 開講学校名

なし

内容・ねらい

講義・演習・実験・実習運営上の工夫

本学における業務との関連性

(3)その他の教育活動

なし

4. 研究業績

(1)研究業績の公表

① 論文

なし

② 著書

なし

③ 学会報告等

なし

④ その他の公表実績

なし

(2)学会活動等

学会でのコメンテーター、司会活動

学会での役職など

学会・分科会の開催運営

日本会計研究学会 第148回 中部部会 (2022年12月10日: 福井県立大学)

(3)研究会活動等

① その他の研究活動参加

② その活動による成果

(4)外部資金・競争的資金獲得実績

(5)特許出願

5. 地域・社会貢献

(1)学外団体

① 国・地方公共団体等の委員会・審議会

福井県公共事業再評価委員会委員 (2016年10月より現在に至る): 県が事業主体となって実施する公共事業の評価に関する審議

福井市特別職職員等倫理委員会委員 (2014年1月より現在に至る): 市長の政治倫理にかかわる事項についての調査・審議

福井市退職手当審査会委員 (2014年1月より現在に至る): 特別職職員等の違反行為の関係者等に対する事実関係の調査・審議

福井市長政治倫理審査会委員 (2013年8月より現在に至る): 退職手当の支給制限等の処分に

<p>についての調査・審議          敦賀港福井港港湾審議会委員（2020年9月より現在に至る）：港湾の開発及び管理運営を適正          円滑に行うための意見聴取・審議          福井縦貫線の事業会に係る第三者委員会（2022年2月）：福井縦貫線の事業化について専門的          見地から審議</p>
② 国・地方公共団体等の調査受託等
③ （公益性の強い）NPO・NGO 法人への参加
④ （兼業規程で業務と見なされる範囲内での）企業等での活動
⑤ 大学間あるいは大学と他の公共性の強い団体との共催事業等
⑥ その他
(2)大学が主体となっている地域貢献活動等
① 公開講座・オープンカレッジの開講 2022年7月17日 会計入門講座の一部として「これから社会に出る人のための経営分析入門」 (ZOOMによるオンライン開講)
② 社会人・高校生向けの講座 なし
③ その他 なし
(3)その他（個人の資格で参加している社会活動等）
なし

#### 6. 大学運営への参画

(1)役職（副学長、部局長、学科長）
なし
(2)委員会・チーム活動
ハラスメント委員会委員（2016年度より継続） 地域志向科目部会委員（2021年度より継続） 相談担当教員（経営学科1年生担当）（2022年度）
(3)学内行事への参加
2022年7月6日 入試説明会（奥越明成高校）
(4)その他、自発的活動など
なし